



第1921回 例会

2013-14年度RI会長:ロンD・バートン
 第2640地区ガバナー: 久保 治雄
 創立:昭和49年5月15日
 会長:竹村 英一
 幹事:後藤 信博
 会報:谷本 司



VOL41 No. 33

2014年 3月12日 (水)

事務所: 田辺市下屋敷町81-10
 きのくに信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
 例会:毎週水曜日 12:30~

司会者 竹村 英一 会長

唱歌

“田辺東ロータリー賛歌”
 丸山 勇人君



出席報告

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
51名	5名	8名	82.61%
2月26日修正出席率100%			

ニコニコ箱

(敬称略)

◇米山記念奨学生の権梅紅様、ようこそいらっしゃいました。ご卒業おめでとうございます。

愛須、後藤、平野、本田、石井、泉、片井、小山、栗山、丸山(博)、岡本、佐田、竹村、谷本、玉置、上原、早稲田、山本、安井、吉田、吉本

◇坂本 正人さんご苦労様です。 畑地
 ◇権さん有難うございました。 畔田
 ◇会長エレクトセミナーに行ってきました。 谷中
 ◇権ちゃん、一年間米山奨学生として活躍してくれて有難うございます。今後はこの経験を生かして、日本と中国の架け橋となりますよう、お願いします。

◇お久しぶりです。 坂本
 ◇早退お詫び申し上げます。 丸山勇
 ◇本人誕生日 木村

◇お花頂きます。 中川

■3月5日(水)、40周年記念誌委員会の打合せが行われました。出席していただいた皆様、ご苦労様でした。

■3月11日(火)、40周年記念事業委員会の打合せが行われました。出席していただいた皆様、ご苦労様でした。

■3月8日(土)・9日(日)スターゲイトホテル関西エアポートに於いて、会長エレクトセミナー(PETS)および次年度のためのロータリー財団セミナーが開催されました。会長エレクトの谷中順次郎君と次期ロータリー財団委員長の代理で渡口眞二君、出席ご苦労様でした。

■本日例会終了後、定例理事会を開催致します。理事・役員の方はご出席下さいますようお願い致します。

■第2520地区(岩手県・宮城県)山田ロータリークラブより「やまだの作文 第42集」が届いています。山田町の小中学生の作文です。回覧しております。

幹事報告

■例会日時変更

◎御坊南RC 3月25日(火)→休会

■メイクアップ

◎3月5日(水)40周年記念誌委員会
 後藤君、中川君、沖君、岡本君、武田君、谷中君、玉置君、渡口君

◎3月4日(火)泉州KUMATORIロータリークラブ 野村君

◎3月11日(火)泉州KUMATORIロータリークラブ 橋本君

◎3月8日(土)・9日(日) 会長エレクトセミナー(PETS)
 および次年度のためのロータリー財団セミナー
 谷中君、渡口君

会長報告

■本日のお客様は、米山記念奨学生の権梅紅様です。権梅紅さん、卒業おめでとうございます。奨学生の誇りをもって地域貢献されることを期待します。



◎3月11日(火)40周年記念事業委員会
愛須君、後藤君、岡本君、武田君、谷中君、玉置君

2640地区 米山学友小委員長
坂本 正人君



■回覧

- ◎「シーカ107号」
- ◎「英語版ロータリアン3月号」
- ◎「米山寄付2月度迄集計表」「2月の寄付金傾向」
- ◎高松南RCより
「高松南RC例会へのメイクアップ参加のお誘い」
- ◎ロータリー情報研究会より
「ロータリー情報冊子のご案内」
- ◎第2520地区山田ロータリークラブより
「『やまだの作文 第42集』の発送について」
- ◎ガバナー事務所 2015-2016年度ガバナー指名委員会より
「2015-2016年度ガバナーノミニの郵便投票による選挙を実施いたします。」
- ◎ガバナーエレクト事務所より
「2014-15年度 地区委員会候補者指名について」
「会長エレクト研修セミナーご出席の御礼」

国際ロータリー第2640地区
2013学年度米山記念奨学生の
終了式での挨拶を述べさせて
頂きます。

今年度の奨学生は継続 4名を含め総勢 24名、本日修了証書を授与されるのは 20名となります。

昨年 4月のオリエンテーションから学友会の地区プログラムが始まり、地区協議会、大阪府立岬高校と和歌山県立田辺高校でのワークショップや他クラブでの卓話、熊野古道での道普請と本宮大社参拝、白浜ロータリークラブへの例会参加、大阪府立岬高校での台湾学生達との交流の為の通訳活動、12月には奈良の御祭り見学と春日神社参拝、更に社会勉強として柿の葉ずしの平宗、茶屋で有名な慈光院へ見学、そして最後に学友総会。

年が明けて今年の1月26日には2014学年度の選考試験を行い、結果、この4月からは15名の新たな米山奨学生が生まれる予定です。

今年度の奨学生諸君には1年間数々のプログラムを通じて活躍してくれました事を感謝いたします。特に卓話の練習を何度も何度もして寄付金を増やそうといった行動は自分だけ良ければいいと言った考えではなく、後へ続く米山奨学生達の為になるんだと強い思いを持ち、卓話へ挑んでいった姿は大変感動致しました。私はこの事が一番心に残っております。

今後はこの経験を生かし、日本と母国の架け橋はもとより、国際平和に貢献しつつ将来はロータリアンのような人間になる事を切に願っております。

2013学年度の米山記念奨学事業が無事に終了式を迎える事ができましたのもひとえに、これまで1年間お世話を下さったカウンセラーの方々やクラブの米山委員長並びにクラブ会員の1人1人の皆様のおかげだと思っております。そして、本日ご列席の公益財団法人、埋事米田様並びに我が地区ガバナー久保様と米山カウンセラー、平岡様始め、大阪府立大学 副学長寺迫様と多くの大学関係者の方々、ご来賓の皆様方、米山地区委員長、谷野様始め、地区委員の皆様方にも本当に地区の活動にご尽力ご協力賜りました事、心より厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。これをもって開会の言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン（ロータリークラブ会員）の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。



委員会報告

米山記念奨学生クラブカウンセラー
国際奉仕委員長 畔田 実君



権梅紅さんからお菓子を頂いています

40周年記念事業委員会

武田 静也君



ポスターが出来上がりました。
100枚皆で配って創立40周年記念事業を成功させるため、協賛広告にご協力してください。

会長エレクト 谷中 順次郎君



PETSの報告

次期RI会長は

ゲイリー・C・K・ホワン氏 台湾
次期ガバナー辻氏の人柄報告

R情報委員長 西谷 次彦君



RI本部仲裁の結果は情報が無い
2015-16年度のがバナーミニ選出について
郵便投票により決定する。投票委員会を
設置。
当クラブは会員51名ですので2票あります。

2013年度米山記念奨学生

権梅紅様



みなさん、こんにちは。
和歌山大学の権梅紅です。

今日は、最後の例会参加になりますが、笑顔で最後までお話しを続けたいと思っております。

今年の3月2日に2640地区2013年度のロータリー米山奨学生卒業式がありました。私をはじめロータリー米山奨学生になって、オリエンテーションした同じ場所の泉大津で卒業式がありました。卒業式のため、みなさんはお花づくり、合唱練習などいろいろがありました。別れるところですが、涙はがまんして楽しい時間を残したかったです。しかし、最後にお花渡す時、先生たちはみんな泣いていることをみて、自分もがまんできなくて泣いてしまいました。短い一年ですが、本当にいろいろな活動をしながらみなさんと日本で新しい家族ができました。

はじめて留学することで日本での生活に不安が多かったが、今は普段ように慣れてきました。これは、全部皆ロータリー先生たちのおかげだと思います。とくに、私は和歌山県の梅産産を研究しながら、田辺、みなべ中心に8ヵ所ヒアリング調査を通して修士論文提出ができたことも、ロータリアンのご支援だと思います。いろいろな初めての経験をしながら本当に幸せな一年を過ごすことができ、感謝の気持ちがいっぱいです。

私は、ロータリー奨学生になったことはきっかけだと思います。これからロータリーとの縁を続けることが重要だと思います。現在は、日本での就職活動を最後までしながら、素敵な先生たちの姿のようにロータリアンになれるように頑張りたいと思っております。もし、中国に帰っても中国と日本の掛け橋になれる仕事をしながら、日本人の留学生のため、サポート支援していきたいと思っております。どこへいっても、どんな仕事をして、ロータリーの恩を忘れずに頑張りたいです。ロータリーとの出会いがあったこそ、私をもっと大きな夢を持つことになりました。

一年間本当にありがとうございました！

目的

将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。

ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。優秀とは「(1) 学業」に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、「(2) 異文化理解」「(3) コミュニケーション能力」への意欲や能力に優れている点が含まれます。

ロータリー米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。

- (1) 学問に対する研究の目的・目標を明確にし、研鑽を重ねてその成果をあげる努力をする。
- (2) 異なる言語・文化・習慣などを理解する努力をする。
- (3) 人間関係における円滑なコミュニケーションを築き、自己の確立と共に他者を受入れる柔軟な姿勢をもつ。

世界の平和を願って ―なぜ留学生支援なのか―

「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか」――。事業創設の背景には、当時のロータリアンのこのような思いがありました。

それから60年余の歳月が流れましたが、「民間外交として世界に平和の種子を蒔く」という米山奨学事業の使命は一貫して変わっていません。

むしろ、今日の世界情勢と日本の置かれている状況を考えると、その使命はますます重要性を増しているのではないのでしょうか。

留学生への支援は、未来に向かって平和の懸け橋をかける尊い奉仕なのです。

